

備前市 事務事業 評価表

事務事業名	水源管理事業		コード	01-01-08-01
			担当課・係	水道工務課水源係
			担当者	岡崎英二
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	水資源開発と水利用		

事業について				
目的 (何のために)	常に安定した安全な水を市民に供給できるよう、水資源の確保と水源施設の管理を行う。			
対象 (誰・何を対象に)	備前市の水道利用者			
内容	浄水場施設維持管理（修繕及び草刈等） 取水権に対する負担金			

事業の結果						
実施項目	17年度		18年度		回数など	
	回数	など	回数	など	回数	など
浄水場内外の草刈等	4	回	4	回		
岡山県広域水道運営経費等負担金	1	回	1	回		
吉井川坂根堰管理負担金	1	回	1	回		
八塔寺川ダム管理費等負担金	1	回	1	回		
水源施設維持修繕	3	回	3	回		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	18,859	間接補助金等		直接事業費	21,526	間接補助金等	
	人件費	12,451	受益者負担	31,310	人件費	9,465	受益者負担	30,991
	合計	31,310	市債	0	合計	30,991	市債	0

結果指標	結果指標名	浄水場内外の草刈等		浄水場内外の草刈等	
	結果指標量	4	回	4	回
	単位	回		回	
	対前年比	—		100.00%	0.00%
結果指標	活動にかかるコスト	772,000	円	1,050,000	円
	単位当たりコスト	193,000	円	262,500	円
	結果指標名	水源施設維持修繕		水源施設維持修繕	
	結果指標量	3	回	3	回
結果指標	単位	回		回	
	対前年比	—		100.00%	0.00%
	活動にかかるコスト	519,750	円	1,585,500	円
	単位当たりコスト	173,250	円	528,500	円

事業の成果				
どのような成果を得ようとしているか	コストの削減			
成果指標名	コスト削減率	式又は説明	年々機器が古くなるが計画的に更新し修繕費を減らす等、費用を減らす割合	
成果指標量	17年度	18年度		
	1,292,000	2,635,500		
対前年比	—	203.99%	0.00%	
到達目標値	2000000円	到達目標年度	20年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等：水道法	妥当性評価 < A ~ E > B
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	課題認識
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価 < A ~ E > B
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映しやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 < A ~ E > C	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 水源の確保は重要であり、浄水場も常にきれいに維持する必要がある。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量	4回
	成果指標量	2,500,000

総合評価	評価区分 < A ~ E > B
水質汚染が進む中、水質基準に適合した安全な水道水を利用者に供給するため、水源の確保は重要である。また、浄水場も常にきれいに維持するよう努力する。	

平成20年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	施設の統合	平成20年度～	水源の統合によりランニングコストの削減が図られる。
有効性	水源施設の老朽化の更新	平成20年度～	安全、安心な水の供給源となる水源の安全性が図られる。